

発行日 : 2022年09月26日

発行部門: 給湯器営業部

営業企画グループ

自然冷媒CO₂家庭用ヒートポンプ給湯機 給湯専用タイプ 仕様書

【システム品番】

YU37NRH-SF09

貯湯ユニット品番: YTS37NL22

ヒートポンプユニット品番: YHD45N16

YU46NRH-SF10

貯湯ユニット品番: YTS46NL22

ヒートポンプユニット品番: YHD60N16

作成	審査	承認
井 2022/09/26 上	森 2022/09/26 口	宮木 2022/09/26 啓

1 仕様

[JIS C 9220 : 2018に基づく表示]

名称		自然冷媒CO2家庭用ヒートポンプ給湯機 給湯専用タイプ (かんたんエコキュート)		
システム	品番	YU37NRH-SF09	YU46NRH-SF10	
	適用電力制度	「電化でナイト・セレクト/季時別電灯/ピークシフト電灯」対応通電制御型		
	定格電圧	単相 200V (50/60Hz)		
	最大電流	15A	16A	
	沸き上がり温度	約65°C~85°C		
	冬期最高沸き上げ温度	85°C		
	着霜期高温沸き上げ温度	85°C		
	年間給湯効率 (JIS) ※1	3.2		
	安全装置	漏電しゃ断器、缶体保護弁		
	使用水	水道水 (井戸水、温泉水は使用不可)		
仕向地	次世代省エネ基準IV地域以南			
年間消費電力量比率※1	80%			
貯湯ユニット	貯湯ユニット品番	YTS37NL22	YTS46NL22	
	タンク容量	370L	460L	
	定格消費電力 (制御用)	5W		
	タンク材質	ステンレス鋼板		
	配管口径	給水配管口・給湯配管口・排水配管口：R3/4、ヒートポンプ配管口：R1/2		
	最高使用圧力	190 k Pa (減圧弁設定圧力：170 k P a)		
	外形寸法	幅	650mm	650mm
		奥行	708mm (操作カバー部+15mm)	708mm (操作カバー部+15mm)
		高さ	1,860mm	2,200mm
	質量 (満水時)	64kg (434kg)	74kg (534kg)	
据付場所	屋内・屋外兼用			
付属部品	上部振れ止め金具			
ヒートポンプユニット	ヒートポンプユニット品番	YHD45N16	YHD60N16	
	中間期標準加熱能力/消費電力※4※5	4.5 k W/0.970 k W	6.0kW/1.325kW	
	中間期標準運転電流	6.00A	7.20A	
	冬期高温加熱能力/消費電力※3※4※6	4.5 k W/1.500 k W	6.0kW/2.000W	
	設置可能最低外気温度	-10°C		
	配管口径	ヒートポンプ配管口：R1/2		
	外形寸法	幅	820mm (カバー部+80mm)	820mm (カバー部+80mm)
		奥行	300mm	300mm
		高さ	650mm	650mm
	質量	48kg	50kg	
運転音 (音響パワーレベル) (中間期/冬期)	51dB/58dB	53dB/58dB		
冷媒名 (封入量)	CO2 (0.675kg)	CO2 (0.725kg)		
設計圧力 (高压/低压)	14.0/8.5MPa			
種類	屋外			
付属部品	ドレンニップル			

[JIS C 9220 : 2011に基づく表示]省エネルギー法に基づく区分名及び年間給湯効率と運転音 (音圧レベル)

システム品番	YU37NRH-SF09	YU46NRH-SF10
年間給湯保温効率	3.2	
	区分名	19
運転音 (音圧レベル)	38dB/43dB	
ヒートポンプユニット (中間期※5/冬期※6) ※8	40dB/45dB	

※1 年間給湯効率 (JIS) は、日本工業規格であるJIS C 9220の評価に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。着霜期高温条件：外気温 (乾球温度/湿球温度) 2°C/1°C、水温5°C、沸き上げ温度85°C

冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度69°C (460Lは65°C)

着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度72°C (460Lは67°C)

算出条件：沸き上げ設定「省エネ」、深夜のみ：「通常」、最低貯湯量：「50L」で測定した値であり、実際には地域条件・各種設定やご利用条件により異なります。

年間消費電力量比率とは、上記条件下でヒートポンプ給湯機を1日運転した時の総消費電力に対する年間電力量の比率です。

※2 次世代省エネ基準IV地域：主に関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州北部など。

また、最低気温が-5°Cを下回る地域では、危機の性能を十分に発揮できないことがあります。

※3 低外気温度時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※4 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下することがあります。

※5 動作条件：外気温 (乾球温度/湿球温度) 16°C/12°C、水温17°C、沸き上げ温度65°C

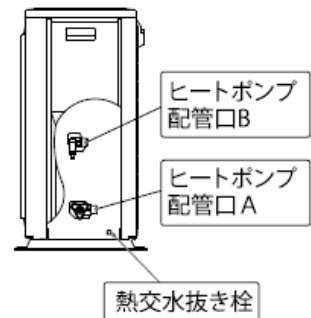
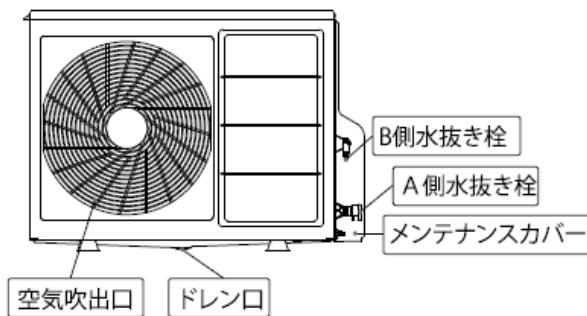
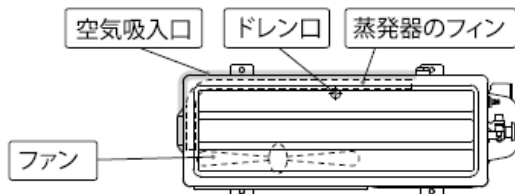
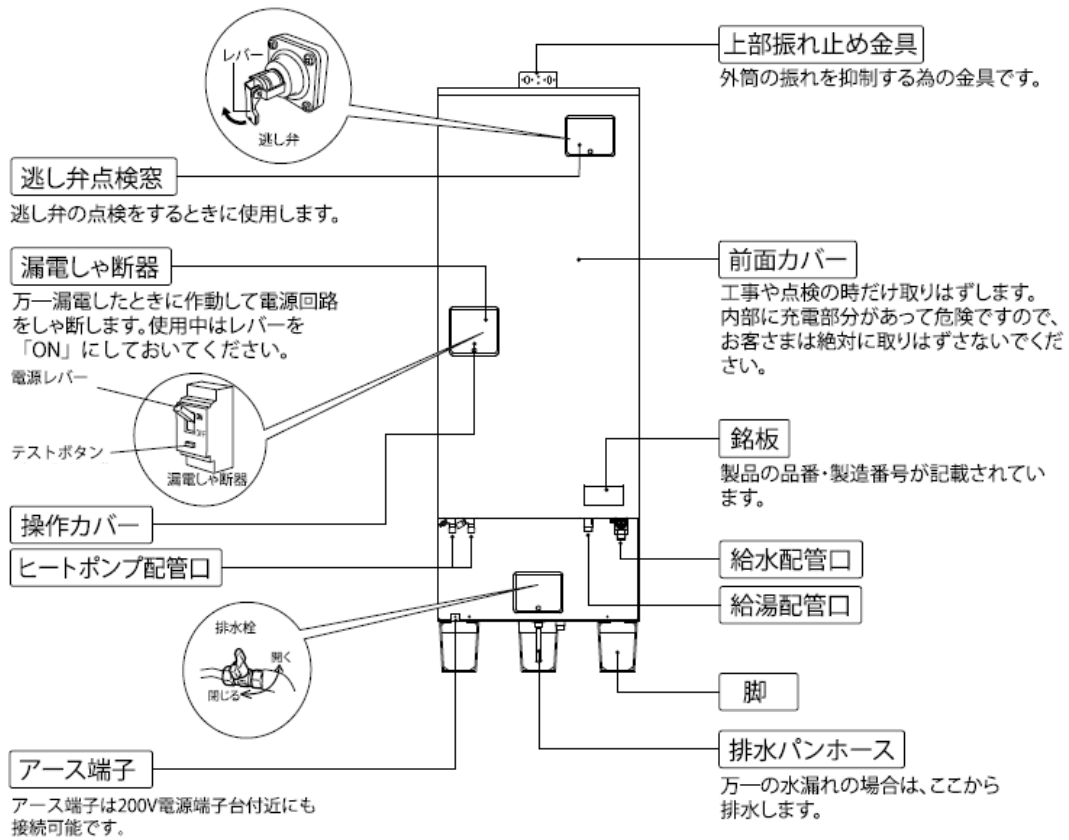
※6 動作条件：外気温 (乾球温度/湿球温度) 7°C/6°C、水温9°C沸き上げ温度85°C

※7 運転音は反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲環境により異なります。

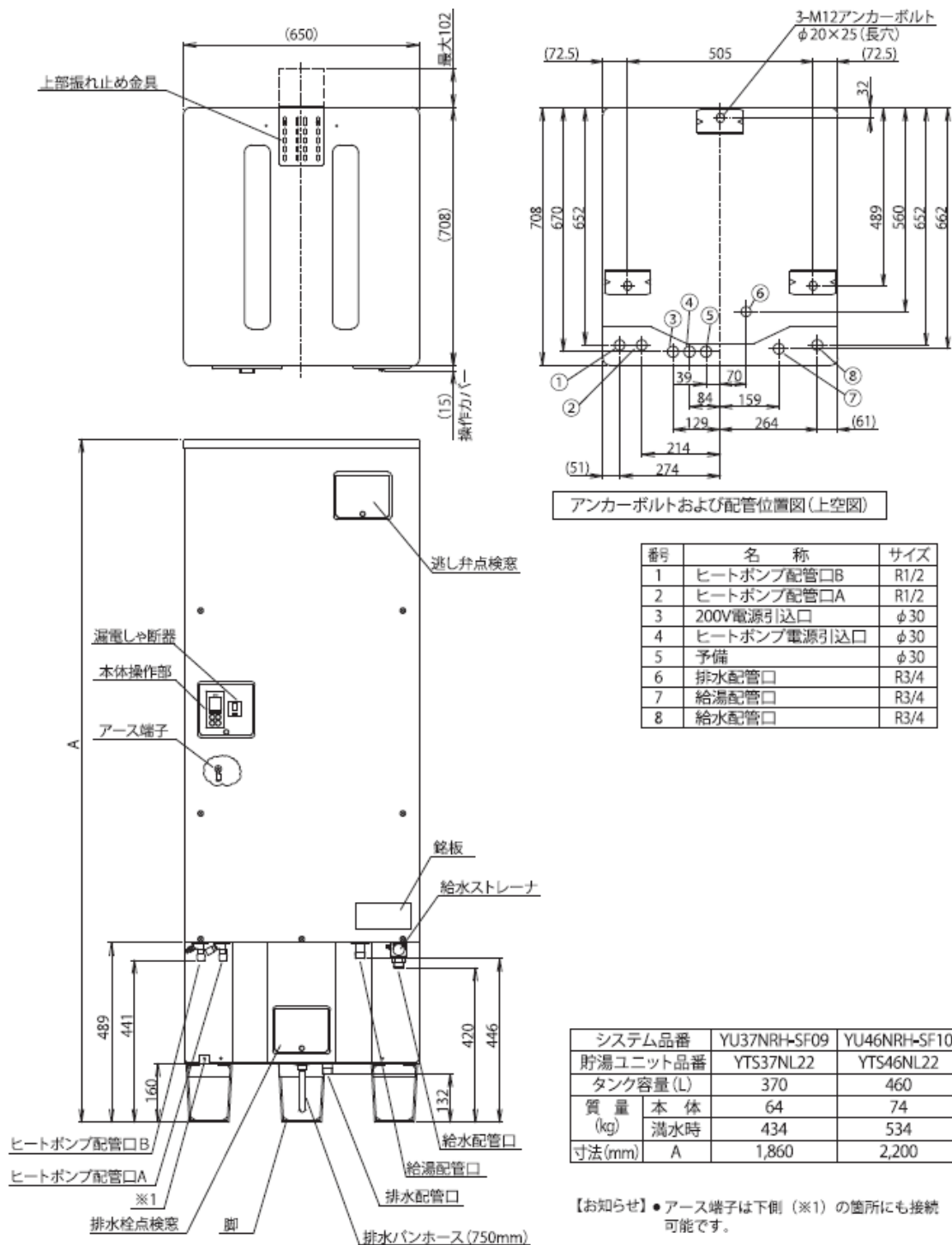
2018年のJIS改正で運転音の測定方法が変わりました。従来の「音圧レベル (騒音レベル)」はJIS改正で定められたある1点で測定したものでしたが、今回採用された「音響パワーレベル」は、周囲に発するすべての音響エネルギーを評価したものです。国際的な評価方法の統一を図るため、表示を開始しました。製品の運転音が大きくなった訳ではありません。詳しくは、一般社団法人日本冷凍空調工業会のホームページをご覧ください。
(<http://www.jraia.or.jp>)

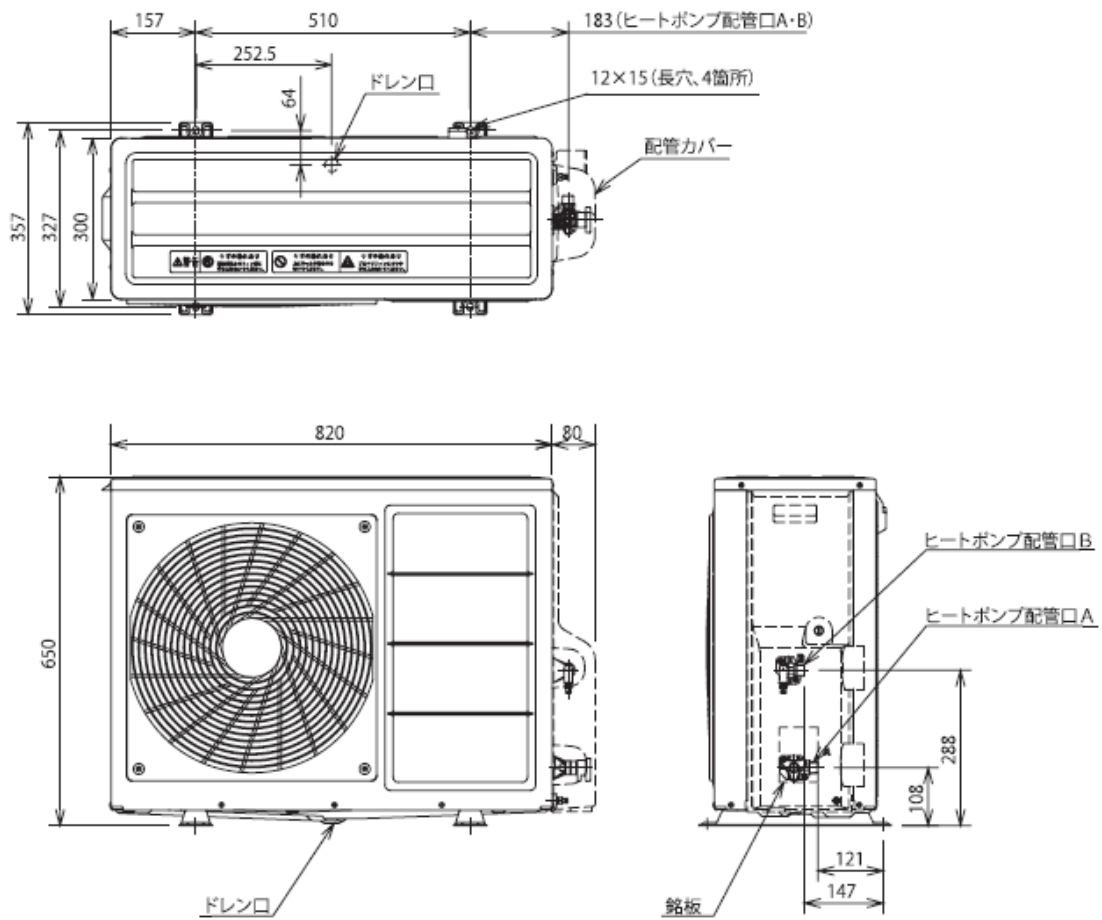
※8 運転音は、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなります。

2 概要



3 外形図

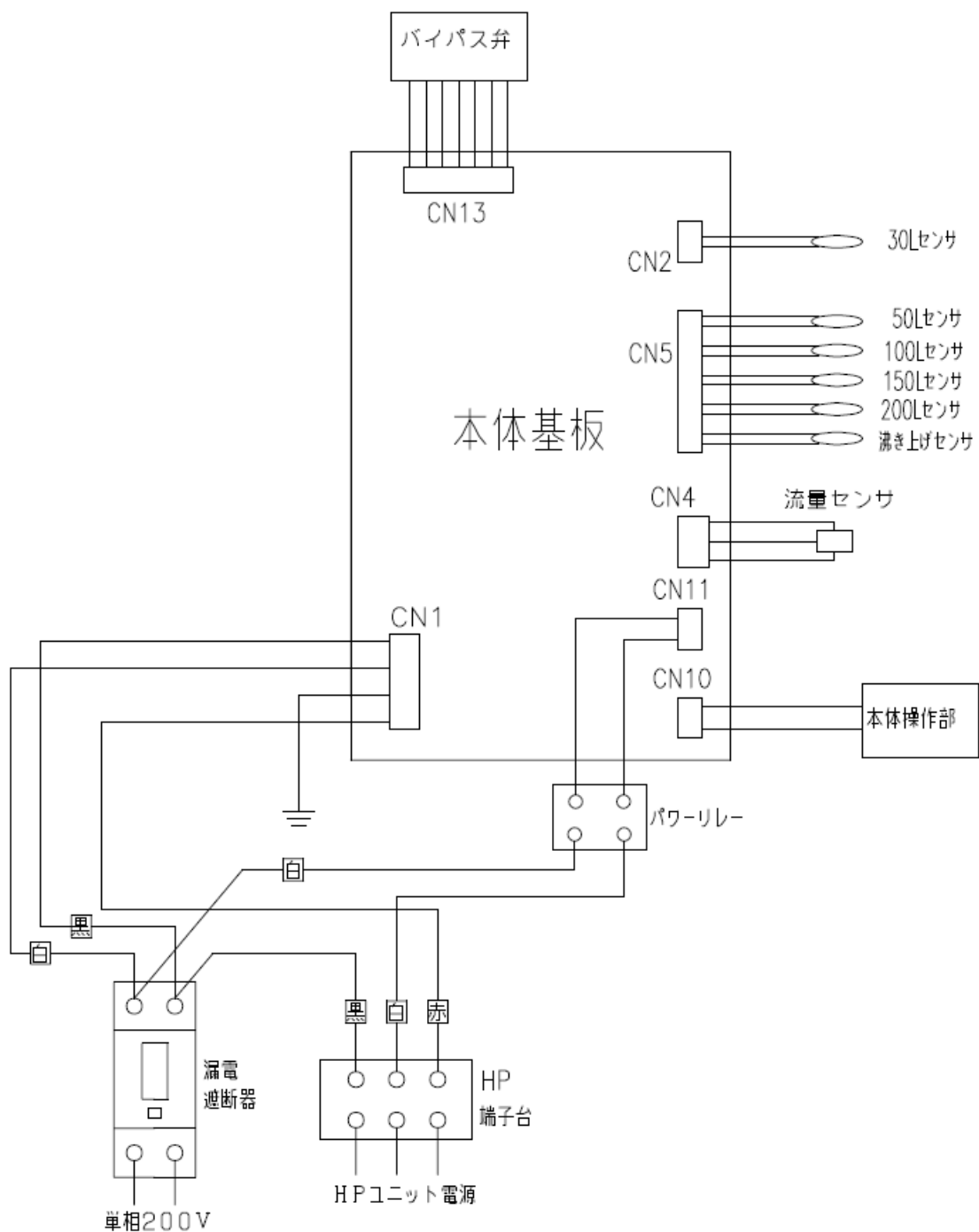




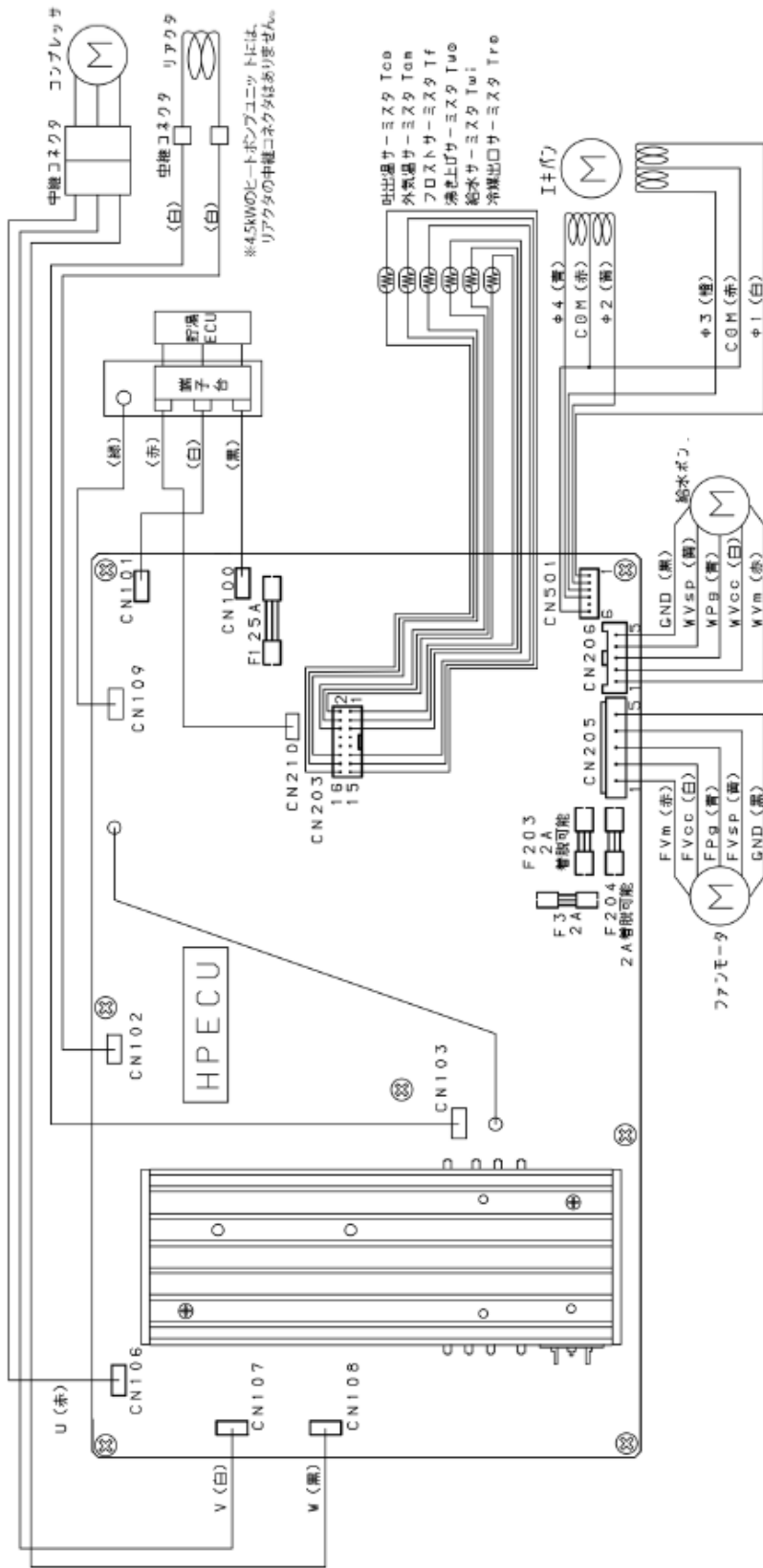
システム品番	YU37NRH-SF09	YU46NRH-SF10
ヒートポンプユニット品番	YHD45N16	YHD60N16
中間期標準加熱能力 (kW)	4.5	6.0
質量 (kg)	48	50

4 電気回路図

(ア) 貯湯ユニット



(イ)ヒートポンプユニット



6 内蔵配管部品 仕様一覧

部 品 名	項 目	仕 様
減 圧 弁	設 定 圧 力	170kPa±7kPa (1次側圧力350kPa時)
	一 次 側 圧 力	最高750kPa
	流 体	水道水
	流 体 温 度	60°C以下(ただし, 凍結のないこと)
	雰 囲 気 温 度	-20°C~60°C
逃 し 弁	吹 始 め 圧 力	190kPa±7kPa
	吹 止 ま り 圧 力	180kPa以上
	吸 機 構 の 開 圧 力	0~-12kPa
	流 体	水道水
	流 体 温 度	110°C以下(ただし, 凍結のないこと)
	雰 囲 気 温 度	-20°C~60°C
缶 体 保 護 弁	吹 出 し 圧 力	350kPa以下、5cc/min 以上
	吹 止 ま り 圧 力	200kPa以上、0cc/min

7 別売部品

(ア)必要な部品

No.	部 品 名	個数	商品 CD
1	化粧カバー370L・460L(エコ)	1	TG1320
2	ヒートポンプ据付用樹脂ベース	2	TF0672
3	ボールバルブ	1	TG0967

(イ)条件により準備する部品

No.	部 品 名	個数	商品 CD
1	自動空気抜弁	1	TC0144
2	角形用上部固定補助金具	1 式	TG0966
3	エコベース(3 本脚用)	1	E750

(ウ)現調達部品(市販品)






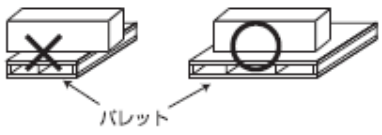
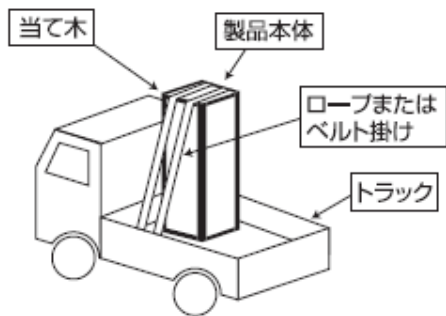




No.	部 品 名	個数
1	アンカーボルト M12×長さ100mm	3
2	アース棒	1
3	給湯機専用止水栓	1

8 施工について

大規模地震による給湯設備の転倒・移動の被害を防止するため「建築設備の構造体力上安全を定める件(平成 12 年建設省告示第 1388 号)」が国土交通省告示第 1447 号(平成 24 年 12 月 12 日)にて改正されました。

この改正により、満水時の質量が 15kg を超えるすべての給湯設備について、転倒防止等の措置の基準が明確化されました。

必ず「工事説明書」に従って給湯機を施工してください。

荷扱い・輸送・保守に関するお願い	
荷扱い上の注意	輸送上の注意
 <ul style="list-style-type: none"> ●荷扱いはていねいに (ずり降ろし面を下に) ずりおろし面(後面)  <ul style="list-style-type: none"> ●荷扱いは2人以上で行う  <ul style="list-style-type: none"> ●ロープ(バンド)掛けは 当て木を使って  <ul style="list-style-type: none"> ●落下厳禁  <ul style="list-style-type: none"> ●ひざ当て厳禁 <ul style="list-style-type: none"> ●横倒し荷役  <p style="text-align: center;">パレット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●必ず上面を当て木を使って ロープ(ベルト)掛けすること (ベルト毎に2ヶ所)  <ul style="list-style-type: none"> ●横積み時フォーク差込み禁止 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> 横  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> 縦  </div> </div>
保管上の注意	受取り業者の方へ
<ul style="list-style-type: none"> ●屋外での保管 製品に雨がかからないように注意してください。 ダンボールおよび製品が破損する恐れがあります。 ●据付け直前まで本体下部の木枠は外さないこと。 転倒し破損する恐れがあります。 	<p>製品を受取った時は製品にキズがないか確認してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <small>ダンボール</small> </div> <div style="text-align: center;"> ：箱 〔天キャップ 角あて×4〕 </div> <div style="text-align: center;">  <small>袋</small> </div> <div style="text-align: center;"> ：袋 〔PE〕 </div> </div>